

第8回 武蔵野市中学校給食検討委員会 議事要録

- 日 時：平成18年3月7日 午後6時35分～8時35分
- 会 場：教育委員会室
- 出席委員：佐々木委員長、原副委員長、伊藤委員、大久保委員、尾関委員、下山委員、高木委員、賞雅委員、中野委員、長野委員、松野委員、三浦委員、屋部委員
- 事務局：山上教育長、金子教育部長、平岡給食課長、小山、坂井
- 傍聴人：4人

【委員長】 中学生をめぐる食の現状と課題について意見をお願いしたい。

【委員】 2ページの下から2行目に、「流通システム上の技術革新や」という言葉があるが、その前に「食品加工技術」という言葉があるので、「生産・」を加筆し「生産・流通システム」とした方がいいのではないか。

【委員長】 広い意味では、生産から全部含めて「流通システム」という表現をよく使うが、生産現場の技術も言っているので、「生産・流通システム上の」にした方が正確になる。修正したい。

【委員】 「流通システム上の技術革新」というのであれば、「生産」という言葉は「流通システム」の中に入らないのではないか。

【委員】 その前の「食品加工」というのが生産の現場をさしている。生産というのは、農業、漁業や栽培といった生産もあるが、加工工場も生産現場の中に入る。これを入れることで大きな誤解は生まないし、むしろよくなると思う。

【委員】 2ページ本文1行目の「『食』は生きるうえでの」の「うえ」は漢字の方がいいと思う。

【事務局】 細かい表現の統一について不完全なところがあると思う。「上」を漢字に統一するなどの点についてはもう一度確認をしたい。

【委員】 「ファーストフード」という表現だが、最近は「ファストフード」という言い方になっていると思う。

【委員長】 他のページの分も含めて変更したい。

【委員】 完全給食や単独調理方式などの言葉の定義が分かりにくいので、用語を整理し初めて出てくるときに注釈を入れた方がいいのではないか。

【委員長】 給食に関わる主な用語は、言葉の下に小さな文字で説明を入れると読みやすい。出来るなら事務局で考えていただきたい。

【事務局】 記載するよう検討する。

【委員】 食料の「料」の字は、統一しているのか。

【事務局】 この字には意味があり、「糧」という字はいわゆる穀物、主食を言うときの字で、全体の食べ物を指すときは「料」の字になる。報告書の中でもそういう使い分けをしているが、正しく使い分けしているか再度チェックをしたい。

【委員長】 「学校給食の教育的意義」が初めて入ったので、事務局で読んでいただきたい。

事務局：「Ⅰ、４．学校給食の教育的意義」を音読

【委員】 10 ページの 11 行目、「栄養バランスの偏りからの肥満化傾向とともに」を「肥満化傾向及び生活習慣病の増加という課題があり」とした方がわかりやすい。

同じく 10 ページの上から第 1 段落目の「例えば、①の『食事についての正しい理解と望ましい習慣の涵養』」とあるが、「涵養」という表現は簡単な言葉にできないか。

【委員】 第 1 段落は、①から④まで条文をそのまま載せる方がいいと思う。

【委員】 12 ページだが、「学校が果たす役割と、家庭の果たす役割を明確にし」とあるが、明確にできる部分とそうではない部分があると思う。この表現は、変えた方がいいと思うがどうか。

【委員長】 文面について検討したい。

【委員】 12 ページの下から 2 行目の「食育のすべてを学校給食に委ねる」は、「学校給食」でいいのか。「学校」に委ねるのではないか。

【委員】 この前で、例えば家庭科ではこうしている、保健体育ではこうということを述べているので、ここは学校給食ではなく、学校に委ねるになるのではないか。

【委員】 学校給食をやれば食育を実施しているととられないように、こういう書き方をした。

【委員】 「このような状況の中で、武蔵野市において中学校給食が導入される際には、食育のすべてを学校給食の実施に委ねるのではなく」と変えたらどうか。

【事務局】 「導入」という言葉だが、報告書をまとめる際に、最初是要録の中の意見をもとにしてまとめていたので「導入」「実施」「実現」などの言葉をそのまま使っていたが、今回はそれを統一してまとめた。言葉の使い方については、違う言葉を使うとそれぞ

れの定義づけが必要になるので、同じ意味の言葉は統一して使いたいと思う。そこで、今は「実施」という言葉に統一したいと思っている。

【委員長】 この部分については事務局と調整したいので、任かせていただきたい。

【委員】 今のところの「中学校給食」だが、ミルク給食を実施しているので「完全給食」とした方がいいのではないか。

【事務局】 「中学校給食」という言葉をいろいろな箇所で使っているのだから、全てを直すのか、どこかに「以下、完全給食のことを言う。」と書くか考えたい。文章の流れ、読みやすさということを含めて、委員長と相談させていただきたい。

【委員】 10 ページの5行目に、「その意義は薄れるものではない」とあるが、目標も変わっていると思われるので、ここはむしろ「変化した現代において、その意義は強まりつつある」としてはどうか。

【委員】 目標自体改正になっているのか。昭和29年6月に制定という言葉があると、昭和29年当時の目標と理解してしまう。

【事務局】 学校給食法は、何回も改正されているが、目標が改正されているのかどうかは、調べないとわからない。当時からこのままだったかどうかを調べた上で、表現を考えたい。

【委員】 意義というのは強弱で表すものではないのではないか。

【委員】 高まるという言い方はあると思う。

【委員】 「現代においても、その意義が弱まるものではない」という言い方もすると思うが、やはりここは「薄れる」だと思う。

【委員長】 次に、「Ⅱ 中学校給食の検討」の部分で意見をお願いしたい。

【委員】 19 ページのプリペイド方式については、子どもと教師あるいは、保護者との間で問題が起こるおそれがあるのではないかと思う。そこで、「一方、プリペイド方式については、子どもと教師や保護者との間で問題が発生するおそれもあり、慎重を求める意見もあった」という一文を加えた方がいいと思う。

【委員】 プリペイド方式は、参考事例として挙げており、その良し悪しをここでは書いていないので、あえて加える必要はないのではないか。文章はなるべく簡潔にした方がいいと思う。

【委員】 なるべく正確に書く方がいいと思うが、ここで参考事例として挙げると、より良い徴収方法として例示されていると読めると思う。

【委員】 そういう意味には読めないと思う。逆に、今の表現が入ることによって、何が問題なのかという疑問を生むのではないか。プリペイドだと、親がうっかりした場合にも給食を選択しなかったととられるのではないかとこのことを心配していると思うが、そういう説明も入れないと、逆に誤解を生む原因になると思う。今まで給食費といえば引き落としか、現金徴収だったところに、プリペイド方式という新しい方法があるということで議論したと思うので、入れておいた方がいいのではないか。そして、最後は行政に検討していただくということなので、これでいいのではないかと思う。

【委員長】 学校にあまり負担のかからない方法や、徴収逃れにならない方法を議論している中で、こういう例もあるということで出てきたが、ここでこの方式を考えようということではなかったと思う。例として挙げたということで、そのときの真意からすればこの表現でいいのではないか。

【委員】 最後の「さらに、公費の負担の軽減は大きな課題である。実施にあたってはより一層の効率的運営が求められる。」というのは、市民としては行政に望む当然の立場ではあるが、ここでの記載は唐突な気がする。

【委員】 表題が給食費になっているので、ここに記載していいのではないか。

【委員】 「公費の負担の軽減は大きな課題である」と書くと、例えば今は 300 円だが、そのうち公費で負担する部分を少なくして、受益者負担にしなさいということはこの委員会で求めているようにとられてしまうのではないかと思う。

【委員】 「公費負担の軽減は大きな課題である」とされているので、その後の「一層の効率的運営」という言葉につながらず、効率的運営をしてお金がかからないようにという意味にとりにくい印象がある。

【委員】 公費負担の話は、あまり出ていなかったように思うが。

【事務局】 公費負担についての議論はあまりなかったが、1食当たりの単価、公費がどれくらいかかっているのかという話は出ていた。また、いろいろな議論の中で、公費負担に対しては、効率的な運営を求めるといったニュアンスの意見があったので、どこかに入れておく必要があると思い、ここに入れさせていただいた。

【委員】 市民アンケートでも、子どもが給食を食べていない世代では、別のことに公費をかけてほしいという意見も随分出ていた。アンケートを読んだ時、すごく率直な意見だと思ったので、どこかに入れた方がいいと思う。

【委員】 この給食費のところに入れると、効率的な運営といった場合に、例えば給食費

の徴収事務を効率的にやるという程度のことには受け取られないのではないか。

【事務局】 他にこれを入れる適当なところが見つからず、5行目に「学校給食法では、施設整備や人件費にあたる部分は公費負担、食材費については受益者負担として給食費として徴収することができる」という記述をしているので、それを受けてこの最後に記載した。

【委員】 皆さんが払っている給食費以外にも費用が公費から出ているということ、どこかで確認しておくために入れた方がいいと思う。公費負担の話とその後の給食費の話は分けて考えた方がいい。

【委員】 「より一層の効率的運営」とあるが、今実施しているのであれば「より一層」というのはわかるが、中学校給食はまだ実施していないので「より一層」は必要ないのではないか。また、小学校給食の効率化は、それによって質も低下してしまうことがあると思う。そのあたりを考えて質を保ちながら効率的に実施してもらいたいというような記述ができればと思う。

【委員】 「一定の質を維持しつつも」というような表現はどうか。

【委員長】 この部分は、もう少し整理して必要な説明を入れる調整を事務局としたいので、ここはお任せいただきたい。

【事務局】 中段の5行目に「1食あたり300円前後になることが予想される」と書いてあるが委員会での要録の表現がそのまま出ているところがあるので、少し直したいと思う。

【委員長】 Ⅲ 提言について意見をお願いしたい。

【委員】 提言の6番目だが、これが20ページの(2)の学校運営上の課題の下から3行目の表現とほぼ同じだが、「視点から」の前の言い方がちょっと違っている。この違いが何なのか分かりにくい。

【委員長】 この部分は整合がとれるように整理したい。

【委員】 この6つの提言だが、3番を除くとみんなワンセンテンスになっているが、3番だけが文章が2つになっている。その辺はどうなのか。

【委員】 提言の1に、「望ましい食習慣の形成が必要であり、そのためには」と書いてあるが、「必要である。」で切ったほうが文章的にはよいのではないかと思った。

【委員】 今のところだが、そこで切ったとすると、「そのためには中学校で給食を実施することを望む」という結びの部分と、「望ましい食習慣」とのつながりがよくわからな

くなってしまう。そのため、例えば「家庭での食のモデルになるような」といった内容で修飾した方がいいと思う。

【事務局】 ワンセンテンスということ意識したわけではない。意図するところをはっきり伝えたいということを考え、いろいろなことを書き加えたり削ったりして、その結果がこのようにまとまった。

提案の1に「望ましい食習慣の形成が必要である」とあるが、この「望ましい食習慣の形成」の部分が最後まで文章を決めかねた部分である。何のために中学校給食を実施することを望むのかということがここにまとめられなければならないが、これは「Ⅱ中学校給食の検討」で書かれている議論のすべてが入ってくる部分である。家庭に対しての影響もあると思うが、給食自体が学校で果たす役割もあると思う。ここは何かを具体的に書くと、かえって矮小化されてしまうところがあり、こういう大きな言葉でないと全体を表現できないということで、この文言にした。

【委員】 今の部分は、22 ページの下になお書きがあるので、この表現でいいのではないかと思う。

【委員】 2行目の「その中で学校における給食のあり方について意見をまとめてきた。」とあるが、委員会ではずっと意見をまとめてきたわけではなく、議論をしてきて意見をまとめたのは最後の2回だけなので、「その中で学校における昼食のあり方についての議論をしてきた」或いは「考察してきた」とした方が正確ではないかと思う。

【委員】 提言の中には給食費に関することが入っていないが、理由があるのか。

【事務局】 給食費に関しては、議論になって何かこういう方向にしたいということではなく、現状の考え方で進めてほしいということが主だったと思うので、提言に書く内容ではないと判断させていただいた。

【委員】 4で「早期実現に向けた努力を求めるが」とあるところを、これを「求める。」とし、「しかし」や「だが」という接続詞にした方が意図がはっきりすると思う。

【事務局】 この接続詞は一番考えたところでもある。前後の文章がある面相反しているところがあり、「早期実施」ということと「拙速ではなく着実な実施」をつながずに切ると、違うことを2つ並べて、どちらを言いたいのかという文章になってしまう恐れがあるのではないかと考えて「、」にした。

【委員】 「だが」「しかし」「ただし」といった接続詞の選択が難しいということか。ここでは早期実現に向けた努力を求めているので、2つ並んでもいいのではないか。

【事務局】 着実な実施、その上で早期実施をしてほしいということが一番ここで言いたいことになるので、ここはもう一度整理させていただきたい。

【委員長】 文章を短く切ったとしてもニュアンスは変わらないと思う。とは言え、「着実なものでなければいけない」と、そういう表現にしたいと思う。どうすればすっきりした表現にできるか考えてみたいと思う。

「おわりに」というのも大事なところになる。これも今回初めて示したので事務局に読んでもらいたい。

事務局：「おわりに」を音読

【委員】 全体的にセンテンスが長いのではないか。

【委員】 下から6行目、「これ」「それ」「そこ」という言葉が多く分かりづらい。

【委員長】 少し整理して、市民がわかりやすくなるように工夫したい。

皆さんのおかげで報告書としてはかなりボリュームのある報告書ができると思う。大事なことは委員がここで8回も真剣に議論をし合ってきたその内容を、できる限り正確に入れたものにしたいということだ。きょうの皆さんの指摘を直せば、なかなかの力強い報告書として届けられるはずだと思う。

【委員】 資料編に、武蔵野市の小学校給食の概要がわかる資料を入れてほしい。

【委員長】 小学校給食について事務局で用意できる基礎的な資料を載せるよう考えたい。

【委員】 会議経過に境南小学校でだんらん給食を試食したことを記載してはどうか。

【委員長】 入れることにしたい。

【委員長】 それでは委員会の協議はここまでとして、あとの調整を委員長に一任いただければ今日の会議を最終回とし、修正した報告書をお送りして、それに対して意見をいただき最終的にまとめる形にしたいがいかがか。

(委員の同意あり)

【委員長】 今後の日程を事務局から説明願いたい。

事務局：今後の予定について説明

- ・修正した報告書（案）送付：16日（金）ないし17日（土）を予定
- ・委員の意見提出締め切り：20日（火）から23日（金）
- ・教育委員会へ報告：28日（水）から30日（金）で調整